

第7回リーガルオペレーションズ研究所 議事録

開催日時：

2025 年 10 月 9 日（木）17 時から 18 時 30 分

開催場所：

株式会社 LegalOn Technologies 本社 19 階 会議室

出席者：

研究員（敬称略、あいうえお順）

打田、稲村、河野、佐々木、根橋

事務局

大原、奥村、今野（記）、酒井、軸丸、松丸

アジェンダ

1. Core8 のフレームワークのレビュー（1 回目）（50 分）：今野
 - ・ Core1～4 を中心に Core の必要性・内容・範囲の議論
2. 分科会のヒアリング対象・項目の検討（30 分）：今野
 - ・ ヒアリング対象の範囲選定
 - ・ ヒアリング項目の選定

サマリー

【決定事項】

- 本定例会では、Core8 の「戦略」「予算」「マネジメント」「人材」の 4 つの Core を中心に、各 Core の必要性、内容、範囲について議論を行った。また、次回の定例会において、残りの 4 つの Core についても議論を行い、検討を深めることが確認された。
- 複数の企業に対しリーガルオペレーションズに関するヒアリングを行うことについて議論し、法務部門の規模や事業形態といった軸でヒアリング対象を選定することが確認された。

議事の経過

1. Core8 のフレームワークのレビュー

Core8 の「戦略」「予算」「マネジメント」「人材」の 4 つの Core を中心に、各 Core の必要性、内容、範囲について議論を行った。議論の概要は以下のとおりである。

（1）全体方針の議論

既存の Core8 のフレームワークの構成を大きく変更すると混乱を招くおそれがあるため、

現行の枠組みを維持した上で、各 Core の記述内容を精緻化する方針が妥当ではないかとの意見が示された。一方で、Core 毎に記述の密度に差がある点や、AI の進化を踏まえた見直しの必要性も指摘された。

(2) 各 Core に関する主な議論

- 戦略

戦略策定プロセスに焦点を当て、CLOC の Core12 の概念などを参考に「データドリブン」の視点を取り入れることが提案された。

- 予算

予算を単なる費用管理としてではなく、ROI（投資対効果）の観点から評価すべきとの意見が出された。

- マネジメント

レポートイングラインの明確化と心理的安全性の確保が重要である点が確認された。また、単なる組織構造の整備にとどまらず、メンバーの信頼関係構築やコミュニケーションの質が鍵となる点が共有された。

- 人材

ソフトスキル育成の重要性が高まっていることや、多様なキャリアパスを整備する必要性が指摘された。また、AI 時代に求められるスキル変化への対応が課題として挙げられた。

(3) 新たな Core や再定義の提案

新たな Core として「KPI による管理」と「コミュニケーション」の追加が提案された。このほか、「ナレッジマネジメント」を「リソースマネジメント」として再定義し、人的リソースや知的資産の管理を包括的に扱う方向性が提案された。

2. 分科会のヒアリング対象・項目の検討

Core8 に関する企業ヒアリングの計画を協議し、リーガルオペレーションズ専門部門を持つ企業や関連イベント登壇企業などがヒアリング対象として提案された。また、法務部門の規模、事業展開（国内・海外）、企業形態（日系・外資系）の3軸でヒアリング対象を分類する方針が確認された。なお、ヒアリング項目については、別途意見交換のうえ確定することとされた。